

個性かがやけ

自分の世界を とびだそう

学校長 梅田 比奈子

これは、今年の「ふれあいフェスティバル」のテーマです。このテーマをみた時、なんて素敵なんだろうと思いました。自分の個性、自分らしさを輝かせる事は、もちろん、それを超えて、よりよいものに出会っていくという事が、このテーマから感じたからです。ふれフェスのプログラムには、テーマについて、こう書かれています。「活動を通して、一人ひとりの個性を輝かせ、自分らしい発表や表現が出来るようになりたい！不安なことや苦手なことにも、挑戦していきたい！せがさきっ子になりたい！という思いが込められています。」子どもたちが、自分を大切にし、さらに挑戦する・・・それは、ふれあいフェスティバルだけのことではありませんが、今までの学習の成果を発表する機会に、そのような思いで取り組めた事は、「さすがせがさきっ子」だと思います。

当日、子どもたちは、自分たちで考えた事を一生懸命発表していました。それぞれの学年で自分たちが学んできた事や学ぶ中で伝えたい事等を考え、工夫をこらして発表する姿が見られたのではないかと思います。準備の中で、ぶつかることもあったと思いますが、そのつど解決し、みんなで作



り上げる事の大切さと良さを感じてきました。緊張した姿もありましたが、一人ひとりが自分を輝やかせていました。そして、子どもたちが笑顔で、自分たちの発表したことについて話してくれる様子に、自分たちの活動について「やった!!」と思っていることを感じました。

エンディングセレモニーでは、なかまグループでそれぞれ活動の良さを伝え合いました。その中でも、このテーマのように、「挑戦」し、それを支える姿が見られました。例えば、なかなかみんなの前で話す事ができない子どもに、「待ってるよ。」と声をかけたり、そっとそばに寄り添ったりする姿がありました。声をかけられた子どもは、その支えを受け、小さい声ですが、しっかり話す事ができ、そして、その話をなかまグループのみんなが一生懸命に聞いていました。

参会の方々から寄せられたアンケートでも、子どもたちの活動をたくさんほめていただき、うれしく思います。また、六年生の演劇を真剣に見ていただいた方からは、心にしみるものだけに、様々な角度からご心配もいただきました。私たちも六年生の子どもたちの思いがまっすぐに届くように、各学年に応じた指導をしました。アンケートを読んで、保護者の皆様が、学校と一緒に子どもたちの成長を考えてくださっているということをいっそう強く感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。（ふれフェスのアンケートについては、1月号で詳しくお伝えします。）

ふれフェスの当日、子どもたちが主体となって作りあげた素敵な一日になると同時に、私たち教職員にとってもうれしい一日になりました。

今年も様々な教育活動に、御協力御支援を頂き、ありがとうございました。新年も職員一同力を合わせて、がんばっていききたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。